

2025_0413「ハナズオウ (写真)」日々の理科 3902号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

ハナズオウ *Cercis chinensis* はマメ科の樹木です。カタカナではまったく意味がわかりません。漢字では「花蘇芳」と書くのですが、漢字表記にしても由来がわかりません。調べてみると、こんな意味だとわかりました。東南アジアに分布する「スオウ (蘇芳)」という、同じマメ科の植物があります。染色に使われる植物で、ハナズオウの花の色が、そのスオウの染色液に似ていることから名づけられたというのです。

和名の由来はともかく、実に不思議な花の咲き方です。マメ科植物の特徴である「蝶型花」なのですが、枝先だけでなく、太い枝からいきなりたくさんの花が咲いています。この咲き方にどんな意味があるのかわかりませんが、まだ葉は出てなかったのも、もしかすると、葉の成長を邪しないようにこのような咲き方をするのかも知れませんね。初秋には実 (豆) になるらしいので、その頃もう一度見に行こうと思います。

(2025年4月上旬／小石川植物園)

